

乳癌に対する放射線治療（外部照射）を受けられた方へ

乳癌に対する放射線治療は標準治療の一つですが、患者様の中には放射線治療をされなかった方もおられます。そこで放射線治療の効果を検証する目的で、放射線治療を行った方と行わなかった方の予後調査を行っております。本研究の実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

【研究の概要】

研究題名：乳房温存術後照射省略の影響および予後因子の調査

研究期間：医学倫理審査委員会承認後から 2023 年 6 月 30 日

実施責任者：京都府立医科大学 放射線診断治療学 准教授 山崎 秀哉

【対象となる方】2000 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日の間に乳癌に対し当院で放射線治療を受けられた方

（術後に沢井記念乳腺クリニックで経過観察をされている方も含みます）

【研究の意義】乳癌における術後照射は、局所再発や乳癌死を予防する目的から標準治療とはなっています。しかし近年では、術後照射を省略しても不利益とならないグループの存在（高齢・ホルモン受容体陽性など）が示唆されています。そのため当院での乳癌術後症例を後方視的に解析を行います。

【研究の目的】乳癌治療後の予後調査

【研究の方法】病歴、治療歴、副作用等の発生状況などを電子カルテの臨床情報から収集、乳癌放射線治療後の予後解析（病気の制御、生存）を行います。

既存情報の提供のみを行う機関：沢井記念乳腺クリニック

研究責任者名：京都府立医科大学・放射線診断治療学講座・山崎 秀哉

【費用について】新たにご負担いただくことはありません。

【予測される結果(利益・不利益)について】該当する方の治療結果には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。

【個人情報の保護について】

解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護には十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

（沢井記念乳腺クリニックで経過観察されている方については、一部情報の郵送を行います。それ以外の結果発表については匿名化されます）

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究で不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合は、以下にご

連絡下さい。また研究計画書及び研究方法に関する資料を下記連絡先で入手できます。情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2023年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究責任者の連絡先】

京都府立医科大学 放射線診断治療学 山崎 秀哉

〒602-8566

京都府京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

TEL:075-251-5620 FAX : 075-251-5840

平日（月～金）9:00-17:00

共同研究機関の研究責任者

沢井記念乳腺クリニック 新藏 信彦